

## あいち STEM ハイスクール 至学館大学講義 家庭科部

7月29日（月）至学館大学の実験室にて、健康科学部・栄養科学科の北本則行教授によるSTEM講義・実験が実施され、1・2年生の家庭科部員15名が参加しました。今回は、普段よく食べるお菓子の中に含まれる小麦と卵のアレルギータンパク質を検出する実験を行いました。事前に本校でマイクロピペットの操作法を練習していたこともあり、生徒は手際よく作業を進めることができました。実験結果とお菓子の袋の食品成分表とを見比べ、小麦や卵が実際に使用されているという事実を実験結果から実感しました。北本先生は管理栄養士になるために必要な勉強などについてもお話をしてくださり、生徒の進路選択の参考になったと感じています。

